

神経オシレーションカンファレンス 2015

場所：京都大学時計台講堂国際交流ホール

日程：平成27年6月25日（木）AM10:00-

開催趣旨：

本カンファレンスでは基礎と臨床の研究者が一堂に会して、神経機能の発現に関わるオシレーションの作動原理について、単一細胞レベルからシステムレベル、理論やモデルまで広く各分野の研究者の方々にご講演いただき、広く議論して解明していく事を目的としています。神経活動の時間的なパターン解析や、神経細胞の集成的活動（ニューラルアンサンブル）、空間的に離れた複数の神経活動間の共振やコヒーレンス、脳情報の分散コーディングなど多彩な研究手法の中身を知る良い機会でもあり、またてんかん・パーキンソン病・統合失調症など精神神経疾患の病態生理と神経オシレーションの異常（ディスリズムア）における臨床的応用の可能性も探っていきます。

講演の他にポスター発表も開催し、トラベルグラントも予定しています。これまでオシレーションの研究に触れたことのない方や学生の参加も歓迎いたします。多数の研究者の皆様の参加をお待ちしております。

・シンポジウム1「オシレーションのデータ対話型理論に向けて」

講演者 北野 勝則（立命館大学） 藤澤 茂義（理化学研究所）
伊藤 浩之（京都産業大学）

・シンポジウム2「Probing motor and higher brain functions from human electrocorticogram: insights from wide-band EEG oscillation」

講演者 池田 昭夫（京都大学） 鎌田 恭輔（旭川医科大学）
Josef Parvizi（スタンフォード大学） YuanYuan Chen（マンチェスター大学）

・特別講演「リズム現象と縮約理論」

蔵本 由紀（京都大学名誉教授）

（時間・発表は変更の場合があります）

企画者：池田昭夫（京都大学） 南部篤（生理学研究所） 美馬達哉（京都大学） 松橋眞生（京都大学）

Web サイト <http://hbrc.kuhp.kyoto-u.ac.jp/NeuralOscillation>

E-mail（事務局） neuroscillation@bpp2.kuhp.kyoto-u.ac.jp

